

璽珞

重要文化財

研究者はこの金箔加工がされた銅装飾は壁に昔かけられており、無量光院の仏像を装飾したと考えています。それらはこの複製が示すように紐によって束ねられていたのかもしれませんが。これらの装飾は、奥州藤原氏の三代目である秀衡（1122?–1187）によって建てられた無量光院の素晴らしさを証明する数少ない遺物の一部です。